

◎ ペレット関連情報

■EURO STOVE (有)河西 (神奈川)、ペレットバーナー PellasX・REVO シリーズのパンフレットを自社ホームページに掲載。サイトよりダウンロード可[同社：2016/03/09]

<http://www.pellet-stove.jp/%E3%83%9A%E3%83%AC%E3%83%83%E3%83%88%E3%83%90%E3%83%BC%E3%83%8A%E3%83%BC/>

■長野県伊那市の第3セクター伊那市観光が運営する同市高遠町の日帰り温泉施設「さくらの湯」がペレットボイラを導入し、3月15日より稼働。開業から21年が経過し、使っていた灯油ボイラが老朽化してきたこともあり、ペレットボイラを導入。燃料のペレットは上伊那森林組合(同市)が地元産の間伐材を活用して製造する「ピュア1号」を使用。灰も肥料として活用する方針で、特殊肥料生産者届出書を県に提出し、販売・配布を始める計画。館内にもペレットや灰を展示する予定[長野日報：2016/03/16]

<http://www.nagano-np.co.jp/articles/1316>

■2016年3月2日(水)～4日(金)まで東京ビッグサイトで開催された「第1回国際バイオマス発電展」で数社がペレット燃焼機器や輸入ペレットを出展。機器では○(株)ライスター・テクノロジーズ(大阪)：木質ペレットストーブ、ボイラの点火装置「イグナイター BM4/BR4」、○(株)イクロス(大阪)：発電機と組みあわせて小型発電システムを構築できる「Bailer」、○(株)エム・アイ・エス(福岡)：バイオマスバーナー「Joule-R」等、○(株)ササキコーポレーション(青森)：木質バイオマスボイラ「Cap Fire WaZa 〔枝〕」など。燃料は○SOLASIA HOLDINGS PTE.LTD.(本社・シンガポール)：「スーパーソルガムペレット」、○川惣電機工業(株)(大阪)：PT. ARANG SAWIT(インドネシア)のペレット、○B.M. Green Resources SDN BHD(マレーシア)：マレーシア産ペレット、○(株)エコネコル(静岡)：ベトナム産ペレット、○(株)フソウ(東京)：インドネシアのパーム油搾油後の空果房をペレット化したEFBペレットなど[OSR No.221 2016/03/16、第1回国際バイオマス発電展出展製品ガイドブック]

[https://issuu.com/reed\\_exhibitions\\_japan/docs/bmjp\\_2016\\_guide\\_0201](https://issuu.com/reed_exhibitions_japan/docs/bmjp_2016_guide_0201)

■奈良県は2016年度、県産材の安定供給と利用拡大の一環で木質バイオマス加工利用施設(ペレタイザー、ペレットボイラ等)の整備に対する補助枠を拡大。平成28年度当初予算・

平成 27 年度 2 月補正予算の概要によると、平成 27 年度は 194,909,000 円だったが平成 28 年度は 238,425,000 円に増加。実施主体は 8 事業体。5 月にも事業者の募集を始める予定[建通新聞：2016/03/17、奈良県：2016/2 月]

[http://www.kentsu.co.jp/webnews/html\\_top/160316700008.html](http://www.kentsu.co.jp/webnews/html_top/160316700008.html)

[http://www.pref.nara.jp/secure/153334/%E4%BA%88%E7%AE%97%E6%A1%88%E3%81%AE%E6%A6%82%E8%A6%81201602\\_P142-143.pdf](http://www.pref.nara.jp/secure/153334/%E4%BA%88%E7%AE%97%E6%A1%88%E3%81%AE%E6%A6%82%E8%A6%81201602_P142-143.pdf)

■給排水や空調といった設備工事などを手掛けるニッポー設備（東京）のショールーム、ペレットストーブ体験が人気。ショールームは昨年 7 月に開設。広さ 80 m<sup>2</sup>の店内にはユニットバスとキッチンが各 1 台、トイレ 3 台、給湯器 2 台、ペレットストーブ 3 台、簡易吸音ルームなど多数の住宅設備を展示。中でも注目を集めているのがペレットストーブで、冬場には実際に稼働させ、暖かさや雰囲気を感じることができるようにしている[リフォーム産業新聞：2016/03/22]

<http://www.reform-online.jp/news/specialty/8587.php>

■長野森林資源利用事業協同組合（長野）、木の皮や木屑などから作るペレットの工場を増設。同組合が運営する「いづなお山の発電所」で使う燃料を自前で賄える体制づくりが狙い。長野市内のペレット工場を増床し、製造所と保管庫を兼ねた施設とする。延べ床面積は約 370 m<sup>2</sup>。同組合は 3,000t/年のペレットを生産しており、増設と保管場所の確保で生産能力は 5,000t/年（発電量は約 360 万 kWh）に。4 月末完成予定、5 月から稼働。投資額は約 3,000 万円[日本経済新聞：2016/03/26]

■（公社）国土緑化推進機構（東京）、木材利用ポイント基金管理を本年 3 月 31 日付をもって終了したことについてホームページで報告。木材利用ポイント事業の実施結果、事業の効果検証結果について公表[同機構：2016/03/31]

<http://www.green.or.jp/topbanner/docs/merged%20%289%29.pdf>

■BPC（株）（東京）と Siam Steel International PLC（タイ）子会社 Siam Inter Biomass Ltd（SIB）がバイオマス事業において業務提携契約と機械設備売買契約書を締結。木質バイオマスの安定供給基盤の強化を目的とした「BPC バイオマスプロジェクト」の一環として、火力発電の燃料となる木質ペレットを 3 年以内に年間 125 万 t 供給。ペレットはタイの燃料工場にて生産され、BPC が計画している日本・中部地区の大型ストックヤードへ搬送し、貯蔵。BPC のクライアントとなるバイオマス発電事業主や、石炭火力発電所の混焼用燃料として販売する。BPC と SIB は、日本、タイを初めアジア各国での販売戦略を立てており、発電向けだけでなく一般販売用（ペット用猫砂、ペレットストーブ用燃料）の生産も視野に入れている[産経新聞：2016/04/04]

<http://www.sankei.com/economy/news/160404/prl1604040017-n1.html>

■ (株) 谷常製菓 (兵庫)、石油系から地元間伐材などの豊富な地域資源を活用したペレットボイラに転換し、完熟いちごの栽培と菓子を製造。そのいちごを使用したスイーツセット等が特典の「谷常製菓のこだわりスイーツファンド」をミュージックセキュリティーズ (株) (東京) と連携して立ち上げ、出資を募集。第 1 次は 5,184,000 円、第 2 次は 3,096,000 円集まり、製造設備や販売促進費 (広告宣伝費、Web 構築費等) に使用。4 月 1 日より WEB サイト「完熟いちご菓子研究所」をオープン[同社：2016/04/01、ミュージックセキュリティーズ (株) ]

<http://www.kanjyukuichigo.com/>

<http://www.musicsecurities.com/communityfund/details.php?st=a&fid=2042>

■ 関西電力 (株) (大阪) と丸紅 (株) (東京) が茨城県神栖市に火力発電所計画。関電子会社の (株) 関電エネルギーソリューション (大阪) と丸紅が出資する特定目的会社「かみすパワー」(東京) が建設する。丸紅は当初、大阪ガスと組んで同じ場所で石炭火力の建設を検討していたが条件面で折り合えなかった。その後首都圏周辺で発電所用地を探していた関電と組むことに。燃料に木質ペレットを使い、石炭の使用量を削減。石炭と木質ペレットの混焼を採用したのは、電力自由化で求められる低価格を実現しつつ、CO<sub>2</sub> 排出量の抑制という地球温暖化対策の要求に応えるため。出力 11 万 2,000kW で、2018 年の運転開始を目指す[産経 WEST：2016/04/13]

<http://www.sankei.com/west/news/160413/wst1604130010-n1.html>

※ OSR・・・オンサイト・レポートの略